

## 細江カトリック教会だより

初春号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15 ☎083-222-2294 📠083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

## 年のはじめにあたって

今年、2023年は、広島教区にとっても、細江教会にとっても、特別な年です。広島教区にとって2023年は教区が創立されて100年にあたる記念すべき年です。すでに昨年秋に、100周年を記念する開年ミサが米子教会で執り行われ、今年4月以降、種々の関連行事が予定されています。100年の歴史と言えば、広島への原爆投下はもとより、教皇ヨハネパウロ2世、教皇フランシスコの来訪など、実に様々な出来事があり、その間、多くの司祭、宣教師、シスター方が教会を支え、また、信徒の皆さんが尽くしてこられたことを思い、感謝をささげなければなりません。去年は、予定を1年遅れで開催された教区代表者会議が終了し、広島教区の皆さんが、コロナ禍ではありましたが、将来の教会の在り方について、オンラインで意見を交換し、司教様が復活祭に、司教教書を発表されました。そこに盛り込まれた提案を、一つでも実現に向けて取り組むことがわたしたちに課せられた課題です。

同時に、今年、細江教会と下関天使幼稚園の建て替えが、いよいよ実行に移される年です。今まで、長い時間をかけて、様々な障碍を乗り越えながら、この大事業の実現のため、準備が進められてきました。信徒会の代表、建設委員会、宣教司牧評議会、また、様々な形でこ

の計画に参加してくださった方々に感謝いたします。そして、今年の夏から、既存の建物の解体、新聖堂の建設と工事が予定されていますが、それまでにも、いくつもの山を乗り越えなければなりません。建設は設計士をはじめ、今後、決定される施工業者だけが関与するものではありません。策定された計画を実現する前提となる資金の手当てが大きな問題です。すでに前任者の時代から、建設資金の積み立てが始められ、相当な額に達していますが、決して十分とは言えません。小教区を超えた方面からの資金提供も期待しておりますが、わたしたちの教会は、何よりも、わたしたちの力で建てるのが理想です。今後、様々な形で建設資金の調達のためにご協力をお願いいたしますが、どうぞ、よろしく願いいたします。一時的にせよ、教会の目に見える建物がなくなることは寂しいことです。また、大きな試練です。かつて、砂漠を旅する民がマナを食し、キリシタンたちが、教会も司祭もない中で、信仰を守り継承してきたことを思い、困難な中でも、いただいた信仰の恵みを深め、ともにわかちあい、新たな聖堂で共に主を賛美することができるよう、お祈りいたしましょう。

この3年の間、わたしたちは皆、コロナという今まで経験したことのない世界規模の災禍に見舞われ、不安と不自由な生活を強いられてきました。そして、今、第8波という、今まで以上に強力なウィルスの猛威にも備えなければなりません。規制の緩和、人々の動きの活発化等により、感染が再拡大する中、あらためて、感染対策の徹底に心し、自らと周囲の方々の安心を確保するよう努めましょう。新しいミサ式次第の定着化、建て替え工事に向けた様々な準備、仮聖堂や近隣教会でのミサ参加

など、柔軟な対応を求められる日々を迎えることとなりますが、聖霊の導きに自らを委ね、この一年が細江教会にとっての新たな出発の時となりますよう、互いに祈り合いましょう。

作道 宗三 神父

## 待降節黙想会 12月11日(日)

「新しい景色を見たい」



ご指導は林 尚志神父様、「♪あなたの息を送ってください すべてが新たになるように」(典礼聖歌5番の答唱)を繰り返し歌って始められた。「朝まだき 主に憧れて目覚む」の憧れは心が童になること。幼少時、山鳥を捕まえようと出かけ、自然の恵みフキノトウを見つけて帰った思い出。待降節は神の種を見つけ出す大事な時。何を持っているかでその人がわかる。何を希望し、期待しているか。

Wサッカーでクロアチアに負けた日本選手たちを称えて、森保監督は「新しい景色」を見せてくれたと語った。その言葉をこの黙想会のテーマにしたい。

子供は常に新しいものが見たい。青い空が見えると笑って、「喧嘩はやめよう」と新しい景色を作る。大人もネガティブにならず、人間関係を新しくしよう。

日めくりの教皇様のことば「神との交わりがなければミッションはできない」に、新しい種があるかもしれない。自分はいらないものを持っていないか。清貧の請願を立てた者は「私のもの」はなく、心には聖書の言葉が入っている。

昔から馬小屋はクリスマスの原風景、羊飼いたちは、供え物が必要な神殿には入れてもらえなかった。山口で祝われた日本最初のクリスマスに大勢の人々が集まった。その中に仏門に入れてもらえない人々がいた。貧しい人、障害者など一番はじかれた人々のためのクリスマスでもあった。

イエス様は誰に対しても「大丈夫」と言って、人を安心させる。「羊飼いさんたち大丈夫だよー」と。神様の作った星の導きに従ってきた東方三人の博士たちにも「大丈夫だよー」と。クリスマスには信徒でない人も教会に来られる。クリスマスの景色は真ん中に食べ物がある。世の中には「俺を食い物にしやがって」と怒る人もいるが、イエス様は、ご自分を差し出して、「私の体を食べなさい」と言われた。

クリスマス！新しい景色を見たい。「♪あなたの息を送ってください すべてが新たになるように」

広報委員



## 主の降誕 12月24日(土) 夜半



\*24日の夜半ミサでは、労働教育センターの中井神父さまと三人の司祭で共同司式。

恵み深いクリスマスの夜。

主のご降誕のお慶びを  
共に祝いましょう！





\*ベトナムの青年たちの馬小屋製作。



\*イエスさまの誕生(本物の Baby)

ベトナム青年たちのクリスマス



徳山、防府、宇部、細江のベトナム青年たちが  
少しずつ練習して… この日を迎えました。



\*大天使ガブリエルからお告げを受けるマリア



\*イエスさまの誕生を羊飼いたちに伝える天使



\*イエスさまの誕生を喜ぶ…

ベトナム青年達による「クリスマス会」の準備は前日夜遅くまでかかりました。

一グループ毎に、ダンスや歌唱を披露し、当日のメインである聖劇は、ベトナム語のナレーションと音楽でしたが、このシーンはどこそこの場面だとか、何とか分かりました。

そして、何と！幼子イエスさま役の赤ちゃんは、防府教会のご夫婦の赤ちゃんでした。愛らしい Baby の姿に感動！

ステージ中で、体操みたいなダンスは、真冬で硬くなっていた体をリラックスできて、とても楽しいひと時でした。

これまでの準備に関わった細江教会のメンバーに「ご苦労さま！」の拍手を送りました。

広報委員



## 地区だより II 中央地区

トアン神父さんからのお届け物です！



\*トアン農園から採りたて野菜をミルトスの有志が販売

昨年9月に細江教会に着任し、安岡方面の農地を借りて野菜を作り始めたグエン・ヴァン・トアン神父さま。

10月に収穫の時期を向かえ、私達はほぼ毎週土曜日に収穫に行きます。初めはチンゲン菜、レタス、チシャ、を袋づめにして、3教会に各10袋ずつ、野菜を売っていただきました。

買っていたいた方は、うさぎになったようで、その野菜を使った料理に苦慮しましたが、おいしいと言われます。今はほうれん草、大根、春菊、ジャガイモと種類が増えました。

まだ、色々な物が、出来るようなので大変ですが、と言っても、トアン神父さまが土を耕し種蒔きをし、水やりまでして成長した野菜を、私達が収穫するだけで、楽しみです。

サツマイモ、たまねぎ、グリーンピースも欲しいと注文をしたり、この農園がたくさんの実りをもたらして、色々な人のかかわりが出来ることを願います。



後日談、『収穫は多いが働き手は少ない』ですが、野菜(加工品)の売り上げは教会建替え支援へ。

二ヶ月間に141,250円でした。

みなさまのご協力に感謝。



\*トアン畑にて・・・

## 編集後記



明けましておめでとうございます！

・寒さ厳しき折、みなさまはいかがお過ごしでしょうか。お身体お大切に。

・信徒の皆さまへ。

私たちの大切な家となる教会建替えが始まります。新しい教会を支えてくださいますようお願いいたします。お一人ひとりのお力が必要です。よろしく願います(代表)。

・コロナ感染症が一向に衰えません。病院が医療逼迫しています。医療従事者のために祈りましょう。

・ウクライナの地にいる人々のことを考えると心が痛みます。家族のもとに帰れない方々に神さまの慈しみが注がれますように・・・早急にこの戦いが終わりますように。

・私たちが、無事にミサに与れる恵みに感謝しましょう。

・新しいミサの式次第のご入用の方は、事務まで申し出てください。3種類ほど用意しています。(こ)

キリスト教一致祈禱週間

1月18日～25日

今年のテーマ

『善を行い、正義を追い求めなさい』

聖書テキスト イザヤ 1・12-18